

広報常任委員会 視察報告書

鞭馬直澄

目的 議会改革を進める上での、広報広聴活動のあり方をつかむ

視察日 令和6年11月1日

視察先 神奈川県足柄上郡、開成町議会 及び 山北町議会

1、開成町議会

(1) change (変革) & reform (改革) を推進している。

広報広聴常任委員会がリアルタイム化を図り、「スピーディに必要な情報」を発信している。

(2) 議会が独自のウェブサイトを開設し、議員自ら「撮影」「動画編集」を行い発信している。タブレットに「編集ソフト」を入れてある。

例えば一般質問を終えた直後の議員に20秒のインタビューを行い、生の声をすぐに発信している。驚くスピードである。

(3) 動画による議会報告会を町内14地区へ出向いて開催し、地域の現状や課題等について意見交換を行い議会活動にいかしている。

(4) ギカイだよりはタブロイド判1枚に、議会活動に絞って情報を発信している。表紙は写真を無くし、多くの情報を載せている。

(5) 日曜議会を年1回開催し、原則一般質問を行っている。

より多くの町民に傍聴していただくためである。

※ 特記

- ネット重視の情報発信のため、ネットに不慣れな人への情報発信に一考の必要が有ると感じた。
- 情報は「読む」から「見る・魅せる」を実行し成果をあげている。

2、山北町議会

広報広聴委員会は議長を除く11名で構成し、2班に分けて活動している。

○デジタル班 4名

- ・議会だよりの編集 ・インターネット録画配信 ・TAB導入検討
- ・広報モニター制度を取り入れ、広報誌の外部評価を得ている。

現在町内6地区から11名で構成しているが公募では集まりにくい
ため日頃から地域のコア人材と接触を図り募集につなげている。

年4回発行の広報誌を議員がモニターに持参し意見を直接聞いている
議員のなり手不足を解消することに結びつくことも期待している。

毎回、アンケートには書き込みがぎっしりとあり、喜んで継続してもら
える人もいる。

- ・誌面は「小学校4・5年生にもわかりやすい表現」としている。

- ・一般質問の掲載ページは、質問と答弁だけを超簡潔に記載してあるため
すっきりとしていて非常に見やすい。

○アナログ班 6名

- ・おしゃべりカフェを開催（隔月 20 日 13：00～15：30）

議員と住民が気軽に話せる機会をつくっており、高評価を得ている。

意見を聴いて集約を行い、ホームページに掲載している。

議員が出向いて、移住者・子育てママ・商工会などで意見交換する。

貴重な意見は町づくりの課題として整理し、政策提言等につなげる。

- ・山北高校生との意見交換により、次世代の声を町政運営に。

※ 特記

- 議会から出向いていく広報広聴活動を行っている。

以上